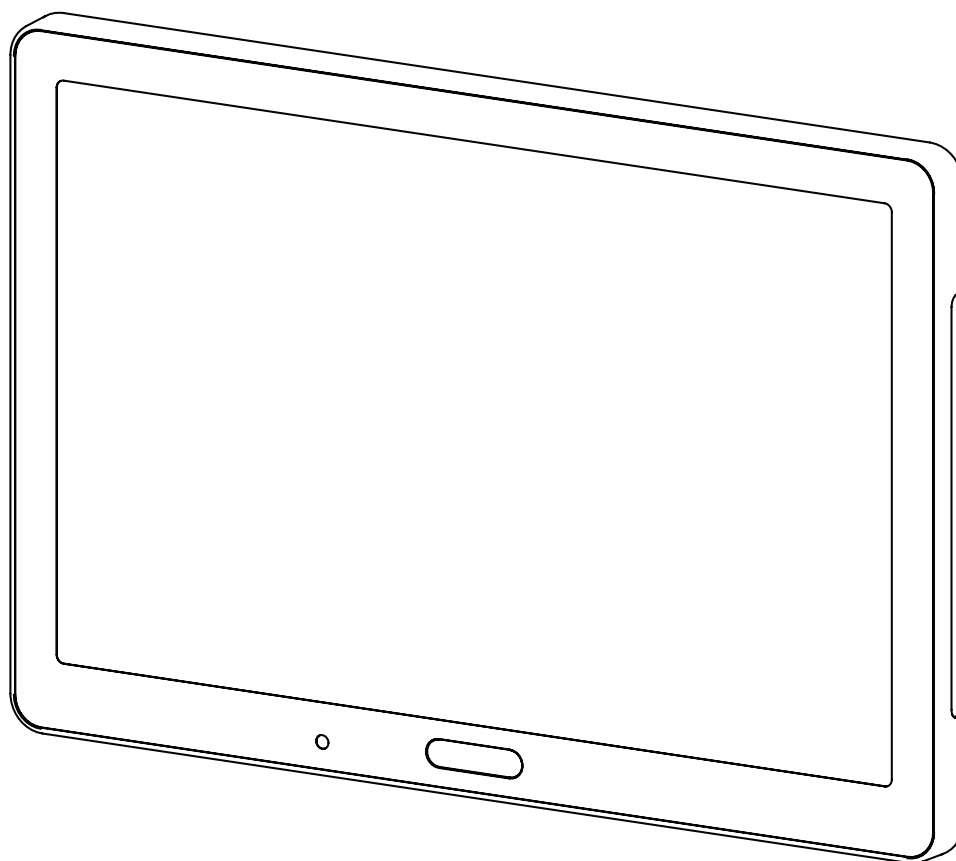


QSP-11 スケジューリングパネル



目次

用語および記号の説明.....	3
安全性に関する重要な指示	3
保守整備と修理	3
環境仕様	3
持続可能性コンプライアンス	4
FCC声明.....	4
カリフォルニア州プロポジション65.....	4
カナダ向け ISSED 電波ばく露に関する声明	4
CE 適合宣言.....	5
MIC適合宣言	5
中国向け声明.....	5
台湾向け声明.....	6
ブラジル向け声明.....	6
タイ向け声明	7
シンガポール向け声明	7
同梱物一覧:.....	7
製品情報	9
設置	10
追加情報	16

用語および記号の説明

「警告!」は、作業者の安全に関する指示です。これらの指示に従わないと、怪我をしたり、死に至る可能性があります。

「注意!」は、物理的な機器への損傷の可能性に関する指示です。これらの指示に従わないと、保証の対象とならない機器への損傷が生じる可能性があります。

「重要!」という用語は、手順を正しく遂行するために不可欠な指示または情報です。

「注記」は、役に立つ付加情報です。



三角形の中の矢印記号の付いた稲妻マークは、人が感電するリスクとなるような絶縁されていない危険な電圧が製品のエンクロージャー内に存在することをユーザーに対して注意喚起しています。



三角形の中の感嘆符は、マニュアル内において安全性および操作と保守整備に関する重要な指示があることをユーザーに対して注意喚起するものです。



安全性に関する重要な指示



1. この指示書を読み、守り、保管してください。
2. すべての警告に従ってください。
3. この装置を水の近くで使用しないでください。
4. 乾いた布のみを使って清掃してください。
5. 換気口をふさがないでください。メーカーの指示に従って取り付けを行なってください。
6. ラジエーター、通風口、ストーブ、その他(アンプを含む)熱を発生する機器などの熱源の近くに設置しないでください。
7. メーカー指定の付属品／アクセサリのみを使用してください。
8. すべての整備は、資格を持つ整備士に依頼してください。
9. 現地のすべての適用基準に従ってください。
10. 物理的な機器の設置に関して懸念や疑問が生じた場合は、認可を受けた専門技術者に相談してください。

保守整備と修理



警告!: 最新の材料や強力な電子機器を使用するなどの先進技術は、特定の保守整備と修理方法が必要となります。器具に対する損傷、人的被害、安全上の危険がさらに発生するといった危険を避けるために、器具に対して行うすべての保守整備と修理作業は、QSC認定サービスステーションまたはQSC認定国際代理店のみが行なわなければなりません。それらの修理を円滑に行うことを顧客、器具のオーナーまたはユーザーが怠ることにより生じるいかなる怪我、損害または関係する損傷に対してもQSCは責任を負いません。



警告!: QSP-11は屋内設置専用設計されています。

環境仕様

- 推定製品寿命:10年
- 保管温度範囲:-20°Cから+70°C (-4°F から 158°F)
- 保管湿度範囲: 10%~90% RH
- 動作温度範囲: 0°Cから35°C (32°Fから95°F)
- 動作湿度範囲:相対湿度5%~85% (30°Cにおいて)、結露がないこと

持続可能性コンプライアンス

QSCは、進化する環境規制および業界標準に従って事業を行うことを約束しています。お客様、パートナー、そして当社が事業を展開する地域社会に対する責任の一環として、QSCは、持続可能性を当社の方針、プロセス、手順に統合することにより、事業および製品の影響をよりよく理解し、軽減するために、環境コンプライアンスの枠組みを強化しています。詳細については、<https://www.qsys.com/esg/> をご覧ください。

FCC声明

QSC Q-SYS QSP-11は、FCC規則のパート15に従って、クラスAのデジタル装置の制限に準拠していることが試験によって確認されています。

これらの制限は、商業環境で使用した場合に有害な妨害から適切に保護するために設計されています。この装置は、無線周波数エネルギーを発生、使用し、さらに放射する可能性があります。取扱説明書に従って設置および使用しないと、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。住宅地域での本機の操作は、有害な干渉を引き起こす場合があり、その場合はユーザーは自費で干渉を防ぐ必要があります。

QSP-11には、次のFCC IDの送信機モジュールが搭載されています。 FCC ID:2AR82-SKIWB800D80S1.WIFI6、BT5.4

これらの機器は、管理されていない環境に対して定められたFCCの電波ばく露制限に適合しており、FCC無線周波数 (RF) 規則パート15にも適合しています。

本機器は、付属の説明書に従って設置および使用しなければなりません。また、この送信機に使用するアンテナは、すべての人から20 cm以上離して設置し、他のアンテナまたは送信機と同一場所に設置したり、併用して動作させたりしてはなりません。エンドユーザーおよび設置業者には、アンテナの設置手順を提供し、他のアンテナまたは送信機との同一場所への設置を禁止する旨の記載を削除するかどうかを検討する必要があります。

カリフォルニア州プロポジション65

カリフォルニア州警告:本製品は発がん性および生殖毒性がある鉛にさらされる可能性があります。

WWW.P65WARNINGS.CA.GOVをご参照ください。

QSCは、カリフォルニア州プロポジション65 (正式名称:1986年安全飲料水・有害物質施行法) に適合しています。この法律では、がん、先天異常、またはその他の生殖機能への悪影響を引き起こすことが知られている化学物質にさらされる可能性について警告を表示することが義務付けられています。

カナダ向け ISED 電波ばく露に関する声明

本機器には、カナダ・イノベーション・科学・経済開発省 (Innovation, Science and Economic Development Canada (ISED)) のライセンス免除RSSに適合したライセンス免除送信機／受信機が搭載されています。動作は以下の2つの条件に従うものとします。

- (1) この機器は干渉を引き起こしてはならず、
- (2) この機器は、有害な動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、あらゆる干渉を受け入れなければなりません。

L'émetteur/récepteur exempt de licence contenu dans le présent appareil est conforme aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes :

- 1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et

2) l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

本機器は、管理されていない環境に対して定められたISED RSS-102の電波ばく露制限に適合しています。本機器は、放射部と身体各部との間に20 cm以上の距離を確保して設置および使用してください。

Pour se conformer aux exigences de conformité CNR 102 RF exposition, une distance de séparation d'au moins 20 cm doit être maintenue entre l'antenne de cet appareil et toutes les personnes.

5150～5250 MHz帯で動作する本機器は、同一チャネルの移動衛星システムへの有害な干渉の可能性を低減するため、屋内でのみ使用するものとします。

着脱可能なアンテナを備えた機器では、5250～5350 MHz帯および5470～5725 MHz帯において許可される最大アンテナ利得は、本機器がEIRP制限に引き続き適合する範囲でなければなりません。

着脱可能なアンテナを備えた機器では、5725～5850 MHz帯において許可される最大アンテナ利得は、ポイントツーポイント運用およびポイントツーポイント以外の運用に適用されるEIRP制限に本機器が引き続き適合する範囲でなければなりません。

Les dispositifs fonctionnant dans la bande 5150-5250 MHz sont réservés uniquement pour une utilisation à l'intérieur afin de réduire les risques de brouillage préjudiciable aux systèmes de satellites mobiles utilisant les mêmes canaux;

Le gain maximal d'antenne permis pour les dispositifs utilisant les bandes 5250 -5350 MHz et 5470-5725 MHz doit se conformer à la limite de p.i.r.e.

Le gain maximal d'antenne permis (pour les dispositifs utilisant la bande 5725-5850 MHz) doit se conformer à la limite de p.i.r.e. spécifiée pour l'exploitation point à point et non point à point, selon le cas.

送信機モジュールIC ID:24728-SKIWB800D80

CE 適合宣言

ここに、当社 (QSC, LLC) は本機器が欧州無線機器指令 (RED) 2014/53/EU および欧州有害物質使用制限指令 (RoHS) 2011/65/E に適合していることを宣言します。

EU適合宣言の全文は、次のインターネットアドレスでご覧いただけます。

<https://www.qsys.com/resources/compliance-library/>



警告!: この機器を住宅環境で使用すると、無線干渉を引き起こす可能性があります。Wi-Fi 5Gの5150～5350 MHz帯での動作は、屋内での使用のみに制限されています。



正しい廃棄方法: この製品は、使用済み後に通常のご家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。電気および電子機器のリサイクルのために回収場所に返却してください。これは、製品、ユーザーマニュアル、またはパッケージに記載されている記号で示されています。当該材料は、その表示に基づき再利用できます。古い機器の再利用、リサイクル、またはその他の活用方法によって、私たちの環境保護に重要な貢献をすることができます。収集場所の詳細については、地域の自治体にお問い合わせください。

MIC適合宣言

警告: 本装置を住宅環境で使用すると無線障害を引き起こす可能性があります。

中国向け声明

产品中有害物质的名称及含有的信息表										
部件名称	有害物质									
	Pb	Hg	Cd	Cr(VI)	PBBs	PBDEs	DBP	DIBP	BBP	DEHP
金属部件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
塑胶部件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
印制电路板 组件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
扬声器	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
本表格依据SJ/T11364的规定编制。										
注1:○:表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均不超出电器电子产品有害物质限制使用国家标准要求。										
×:表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出电器电子产品有害物质限制使用国家标准要求。										
注2:以上未列出的部件,表明其有害物质含量均不超出电器电子产品有害物质限制使用国家标准要求。										
 在中华人民共和国境内销售的电子信息产品必须标识此标志,标志内的数字代表在正常使用状态下的产品的环保使用期限。										

根据中国电子行业标准SJ/T11364-2024 和相关的中国政府法规,本产品及其某些内部或外部组件上可能带有环保使用期限标识。取决于组件和组件制造商产品及其组件上的使用期限标识可能有所不同。组件上的使用期限标识优先于产品上任何与之相冲突的或不同的环保使用期限标识。

注:本设备的型号核准代码标识详见后铭牌。

台湾向け声明

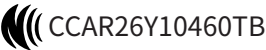
臺灣

根據低功率射頻器材技術規範：

取得審驗證明之低功率射頻器材，非經核准，公司，商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。低功率射頻器材之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前述合法通信，指依電信管理法規定作業之無線電通信。低功率射頻器材須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。減少電磁波影響，請妥適使用。5.7.9.1應避免影響附近雷達系統之操作。

警告使用者：

此為甲類資訊技術設備，於居住環境中使用時，可能會造成射頻擾動，在此種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。



限用物質含有情况標示聲明書

無線觸控面板, 型號: QSP-11						
單元	限用物質及其化學符號					
	鉛 (Pb)	汞 (Hg)	鎘 (Cd)	六價鉻 (Cr+6)	多溴聯苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
金屬部件	○	○	○	○	○	○
塑膠部件	○	○	○	○	○	○
印刷電路板	0.1 wt%	○	○	○	○	○
喇叭	○	○	○	○	○	○

備考1.“超出0.1 wt%”及“超出0.01 wt%”係指限用物質之百分比含量超出百分比含量基準值。

備考2.“O”係指該項限用物質之百分比含量未超出百分比含量基準值。

備考3.“—”係指該項限用物質為排除項目。

ブラジル向け声明

Este equipamento não tem direito à proteção contra interferência prejudicial e não pode causar interferência em sistemas devidamente autorizados.

Este produto está homologado pela Anatel de acordo com os procedimentos regulamentados para avaliação da conformidade de produtos para telecomunicações e atende aos requisitos técnicos aplicados. Para maiores informações, consulte o site da Anatel - www.anatel.gov.br

Este equipamento deve ser conectado obrigatoriamente em tomada de rede de energia elétrica que possua aterramento (três pinos), conforme a Norma de instalações elétricas ABNT NBR 5410, visando a segurança dos usuários contra choques elétricos

タイ向け声明

เครื่องโทรคมนาคมและอุปกรณ์นี้มีความสอดคล้องตามมาตรฐานหรือข้อกำหนดทางเทคนิคของ กสทช.

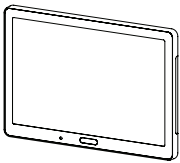
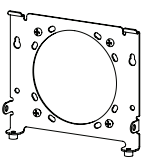
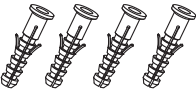
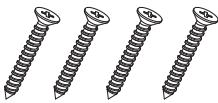


シンガポール向け声明

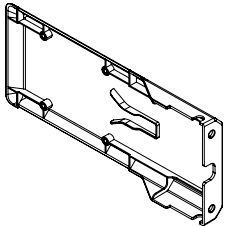
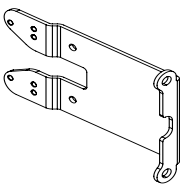
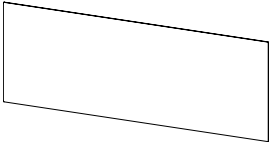
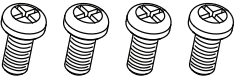
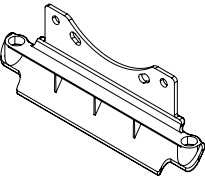
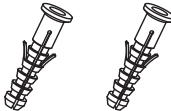
IMDA規格
DA260171に準拠

同梱物一覧:

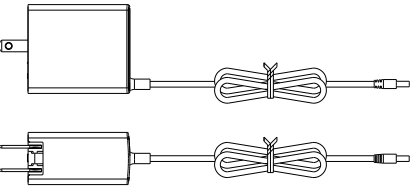
QSP-11 スケジュールリングパネルおよび壁面取付キット

 QSP-11 スケジュールリングパネル x1	 壁面マウント x1	 (KM3×6 mm) ブラケットねじ x2	 PA4x20 mm セルフタッピングねじ x4
 壁用アンカー x4	 KA4×30 mmセルフタッピン グ壁面取り付けねじ x4	 安全性および規制に関する 声明 TD-001732-01	

QSP-GMK ガラスおよびマリオン取付キット (オプションアクセサリ)

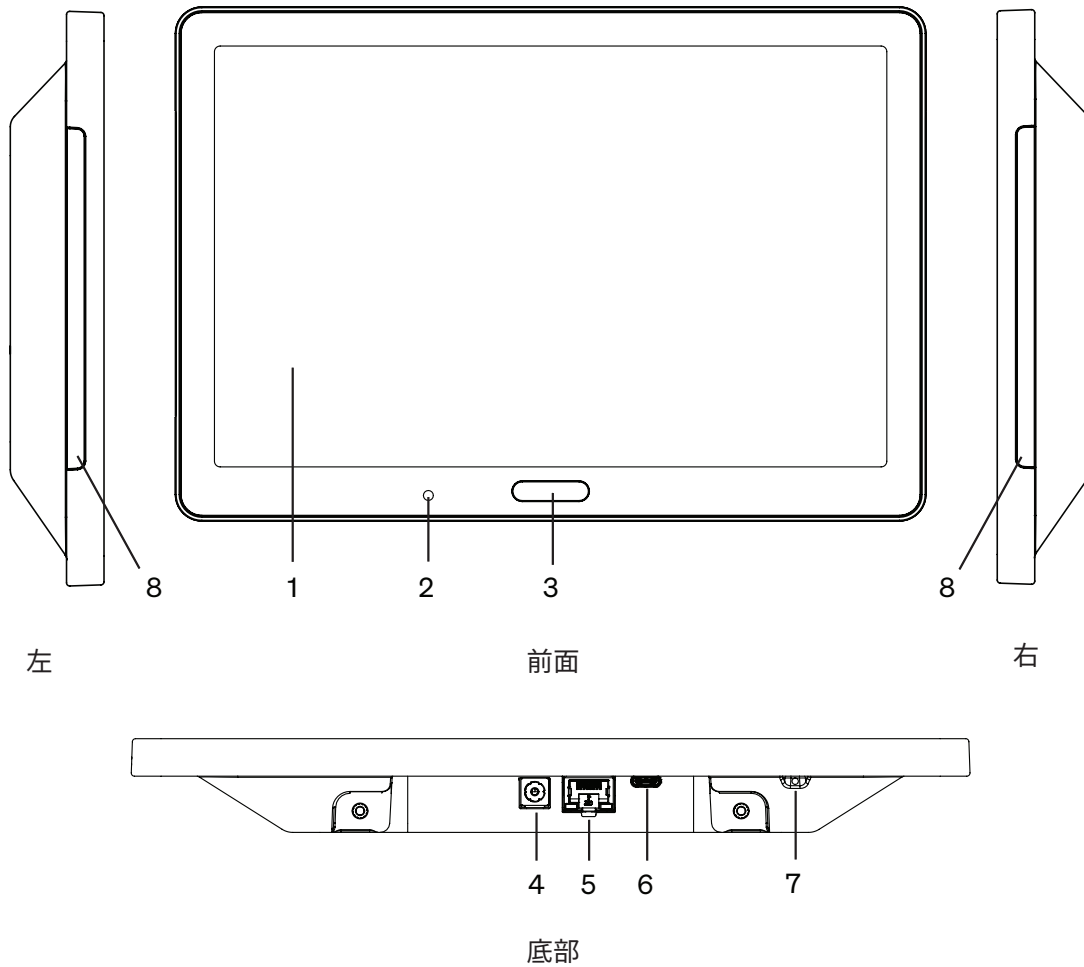
 バックプレート (構造用ブラケットなし) x1	 マリオン取付用構造ブラケ ット x1	 ガラス取り付け用粘着パッド x1	 組み立て済みのマ ウント内のM4x8 mm プラスね頭小ねじ x8
 底部ケーブルカバー x1	 ブラケット ケ ーブル カバー x1	 PA6x30mm セルフタッピングねじ 2x	 壁用アンカー 2x

電源供給 (オプションアクセサリ)

 45W-DC-PSU、12VDC、3.75A 外部電源 (EU、US、UK、AU、CN、KR、 およびIN向けプラグオプション付き) x1

製品情報

QSP-11 スケジューリングパネルの概要:



番号	品目	説明
1	タッチスクリーン	表示およびタッチ操作用。
2	光センサー	周囲光センサー
3	近接センサー	省エネルギーモードに設定されている場合に、ディスプレイを起動する近接センサー
4	DC入力	オプションのアクセサリの場合: 45W-DC-PSU、12VDC、3.75A 外部電源 (PoEを使用しない場合にのみ必要)
5	RJ45ポート	インターネットおよびPoEまたはPoE+電源 (USB Cに接続するデバイスが電源を必要とする場合はPoE+を使用してください)
6	USB-Cポート	最大1A @ 5Vの電力供給を提供します
7	工場リセットボタン	「追加情報」(20ページ)の工場出荷時設定へのリセット手順を参照してください。
8	ライトバー	部屋の状態

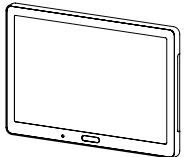
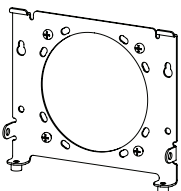
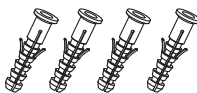
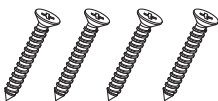
設置

QSP-11 スケジューリングパネルには、3つの取り付け方法があります。用途に応じて、次のいずれかの手順に従って本機器を取り付けてください。

- A. 壁への取り付け。
- B. 電気ボックスへの取り付け。
- C. ガラスへの取り付け。
- D. マリオンへの取り付け。

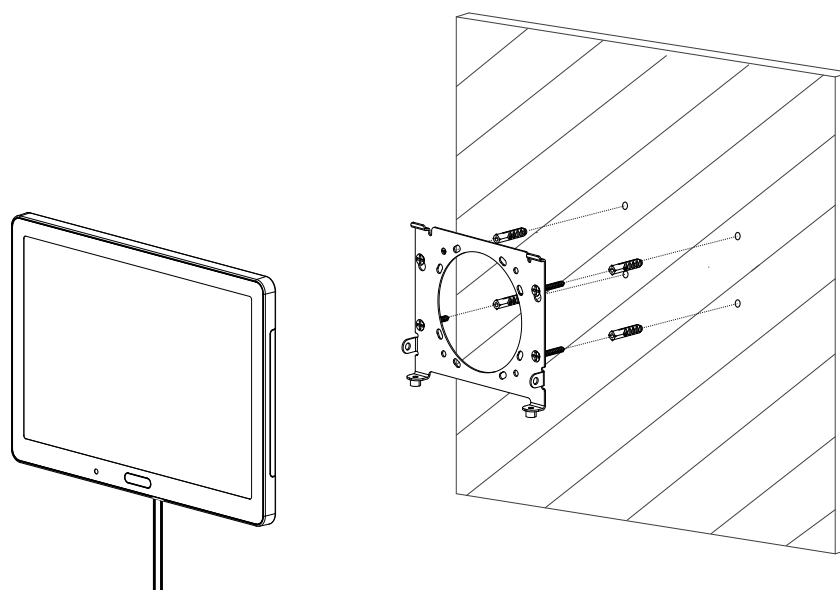
壁への取り付け

壁にデバイスを取り付ける前に、次のデバイスおよびアクセサリが揃っていることを確認してください。

 QSP-11 スケジューリングパネル x1	 壁面マ ウント x1	 (KM3×6 mm) ブラケットねじ x1	 壁用アンカー x4
 A4×30 mmセルフタッピン グ壁面取り付けねじ x4			

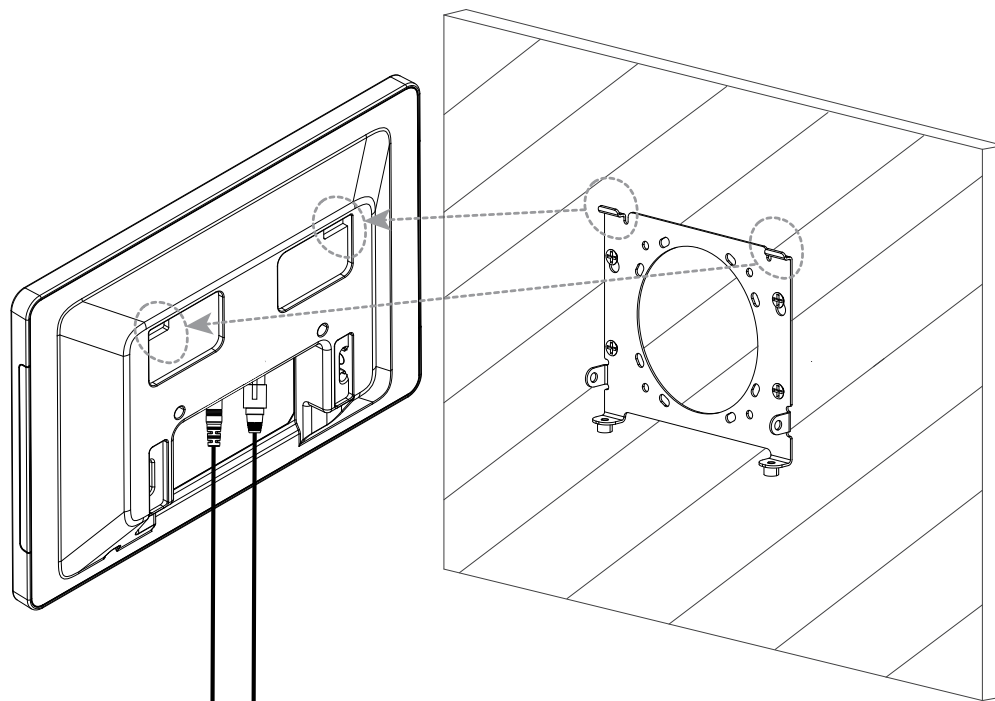
ステップ 1. QSP-11スケジューリングパネルの背面にケーブルを接続してください。壁面取り付けの場合、ケーブルは下向きに垂らしてください。

ステップ 2. 壁面マウントの対応する穴に合わせて、水平になるように壁用アンカーの穴を4か所開けてください。開けた穴に壁用アンカーを挿入します。壁面マウントをガイドとして使用し、穴位置を決めて水平を確認してください。壁面マウントを、4本の壁用ねじ (KA4×30 mm) で取り付け済みの壁アンカーに固定してください。図1を参照してください。



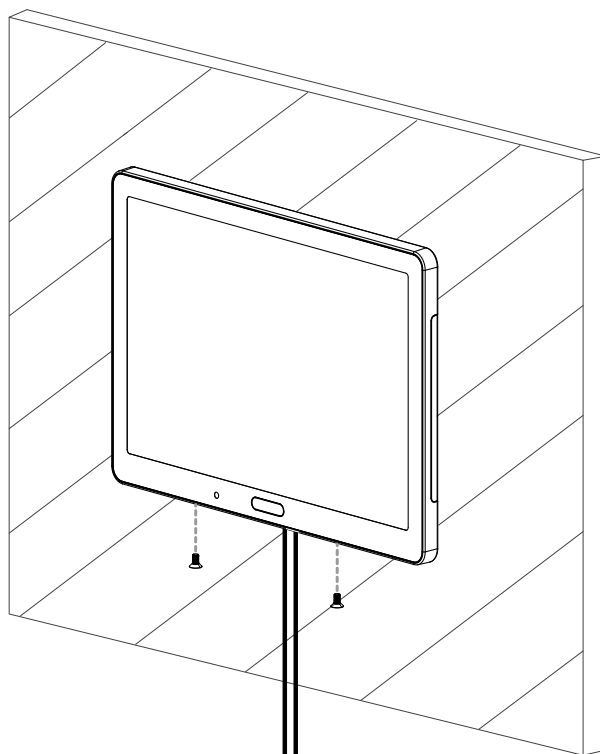
— 図1 —

ステップ3.図2に示すように、スケジューリングパネルの開口部を壁面マウントの突起部(またはフック)に合わせ、パネルを所定の位置に落とし込みます。



— 図2 —

ステップ4.次に、図3に示すように、ブラケットねじ(KM3×6 mm)を使用してパネルを壁面マウントに固定します。



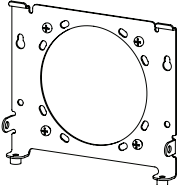
— 図3 —



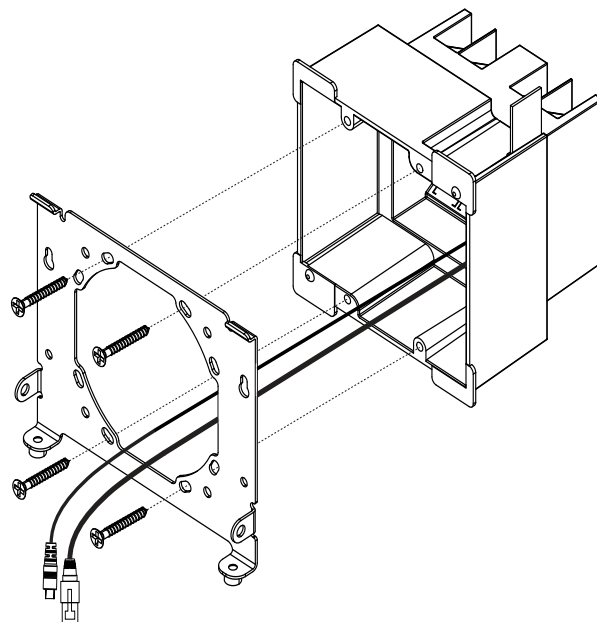
注記:QSP-11スケジューリングパネルは、図1、図2、および図3.に示す横向き(ランドスケープ)配置から、壁面マウントとパネルを左右いずれかに90°回転させることで、縦向き(ポートレート)にも取り付けことができます。

電気ボックスへの取り付け

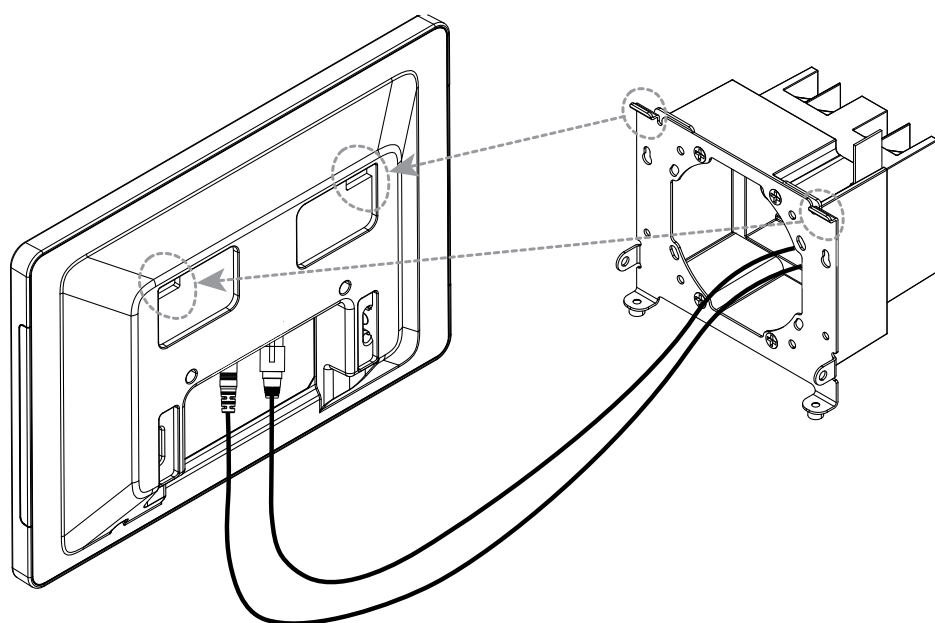
QSP-11スケジューリングパネルは、米国規格または欧州規格の2連用電気ボックスに取り付けることができます。次のデバイスおよびアクセサリがあることを確認してください。

 QSP-11 スケジューリングパネル	 壁面マウント	 (KM3×6 mm) ブラケットねじ	 PA4x20 mm セルフタッピングねじ
---	---	--	---

ステップ 1.2連電気ボックスからケーブルを壁面マウントに通してください。図4に示すように、PA4×20 mmのセルフタッピングねじを電気ボックスにねじ込んで、壁面マウントを所定の位置に固定してください。



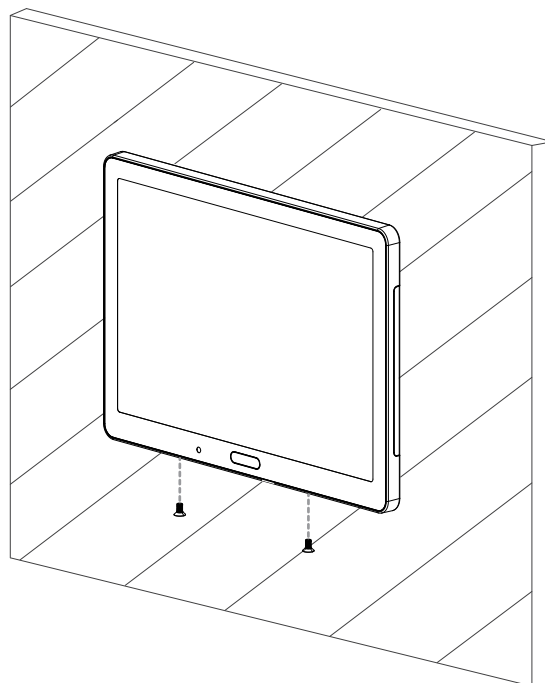
— 図4 —



— 図5 —

ステップ 2.QSP-11 スケジューリングパネルの背面に必要なケーブルを取り付けてください。パネルを壁面マウントに取り付けるには、パネルの開口部を壁面マウントの突起（またはフック）に合わせ、パネルを所定の位置に落とし込みます。余分なケーブルのたるみを電気ボックス内に押し込んでください。図5を参照してください。

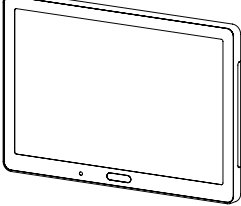
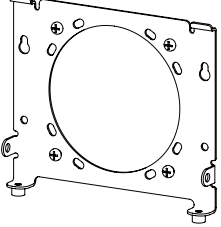
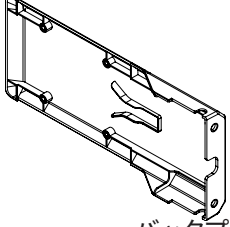
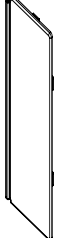
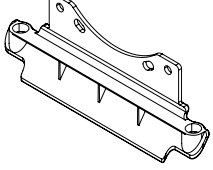
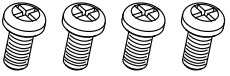
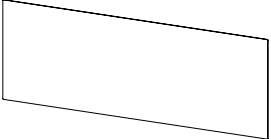
ステップ 3.図6に示すように、2本のブラケットねじ (KM3×6 mm) で、パネルを取り付け済みの壁面マウントに固定してください。



注記:QSP-11スケジューリングパネルは、図1、図2、および図3.に示す横向き(ランドスケープ)配置から、壁面マウントとパネルを左右いずれかに90°回転させることで、縦向き(ポートレート)にも取り付けすることができます。

ガラスへの取り付け

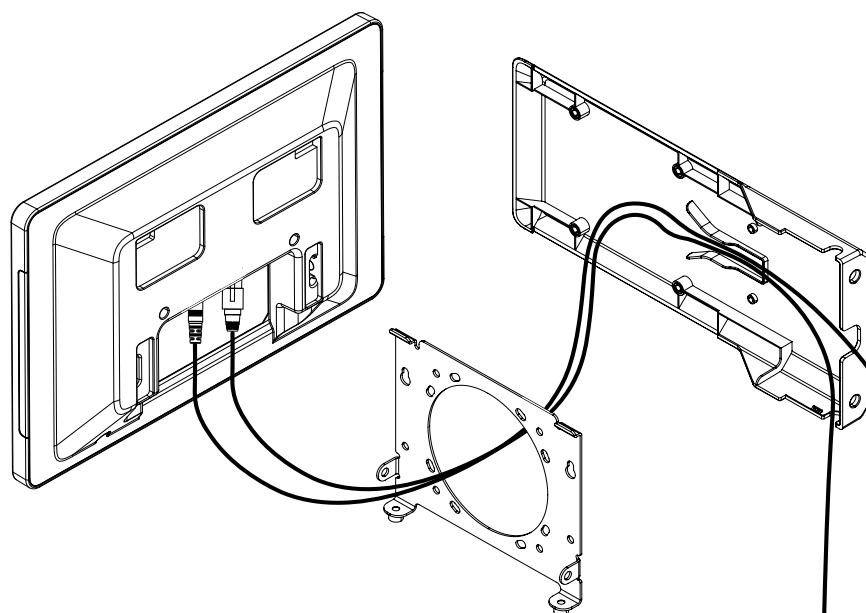
ガラス(または同様に滑らかな表面)にデバイスを取り付ける前に、次のデバイスおよびアクセサリが揃っていることを確認してください。

 QSP-11 スケジューリングパネル x1	 壁面マ ウント x1	 バックプレート x1	 ブラケットケ ーブルカバー x1
 底部ケーブルカバー x1	 M4x8mm プラスなべ頭小ねじ x4	 KM3x6 mm ブラケットねじ x2	 ガラス取り付け 用粘着パッド x1



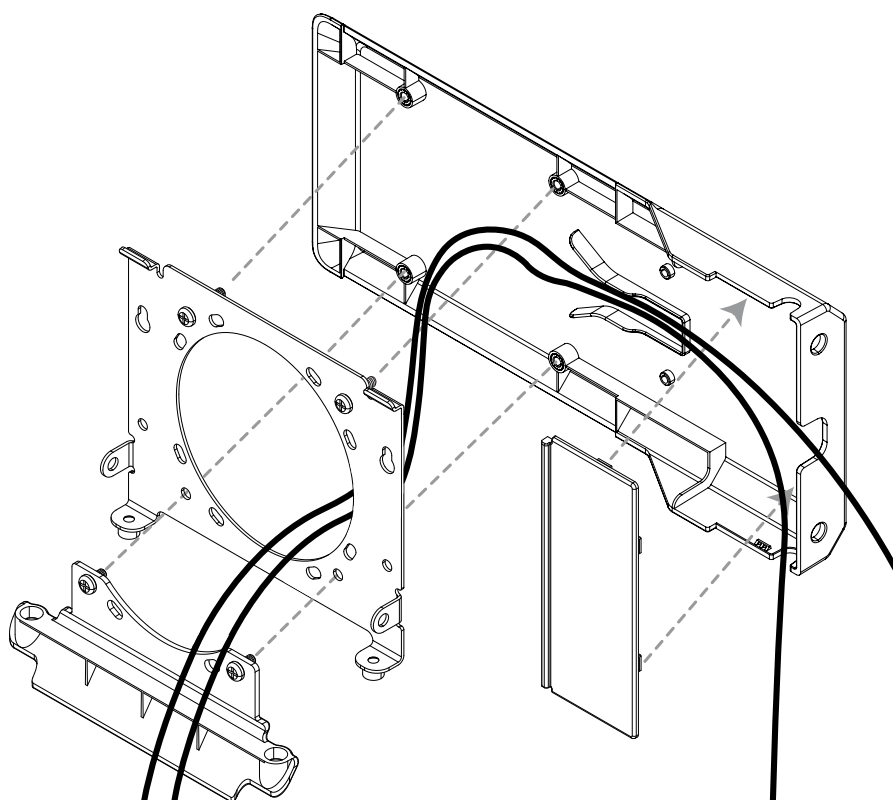
注記:構造ブラケットはガラス取り付けには不要ですが、構造ブラケットを追加することで、より高い安定性が得られる場合があります。構造用ブラケットを使用した組み立て手順については、「マリオンへの取り付け」(16ページ)をご覧ください。

ステップ1.必要なケーブルを壁面マウント中央部に通し、QSP-11スケジューリングパネル背面に接続してください。ケーブルを慎重に配置し、バックプレートを実際に閉じ、ケーブルがブラケット構造の下から出るようにしてください。図6を参照してください。ケーブルは、ユーザーのニーズに応じて、下側の穴または側面の穴から出すことができます。



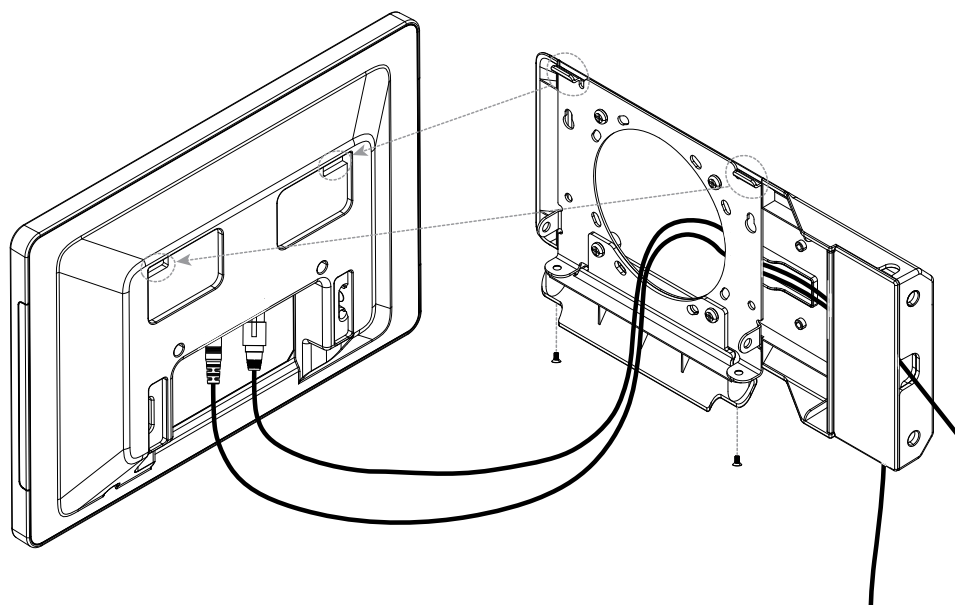
— 図6 —

ステップ2.下部ケーブルカバーと壁面マウントをM4x8mmプラスネジで背面プレートに取り付け、下図7に示すようにケーブルを最適な配置に保ってください。ブラケット ケーブル カバーを所定の位置にはめ込んで取り付けます（下の図7にも示されています）。



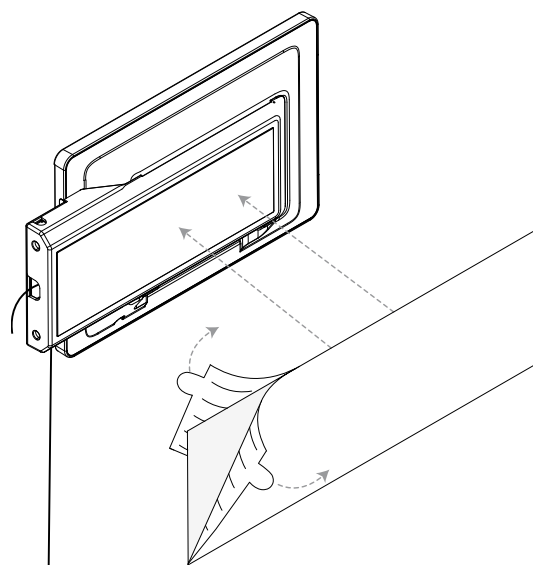
— 図7 —

ステップ3.パネルを壁面マウントに取り付けるには、パネルの開口部を壁面マウントの突起（またはフック）に合わせ、パネルを所定の位置に落とし込みます。次に、2本のブラケットねじ（KM3×6 mm）を使用して、パネルを取り付け済みの壁面マウントに固定してください。ケーブルを配線する際は、カバーが確実に閉まるように注意してください。図8を参照してください。

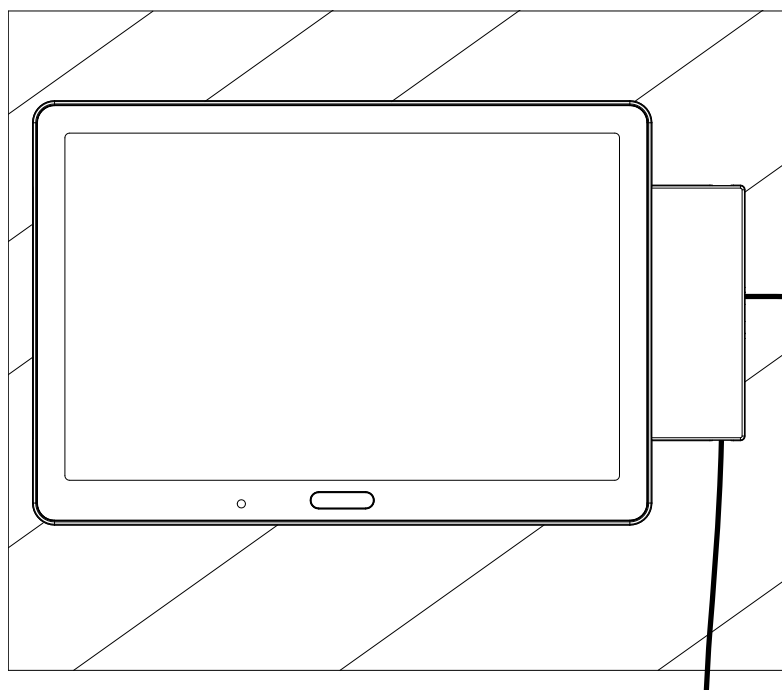


— 図8 —

ステップ4.粘着パッドの片面を剥がして粘着面を露出させ、組み立て済みの背面プレートに取り付けます。図9を参照してください。



— 図9 —

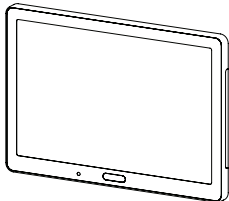
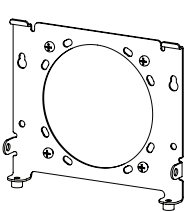
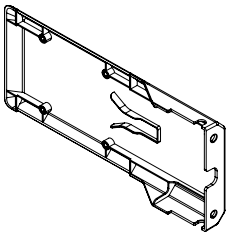
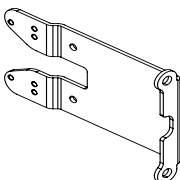
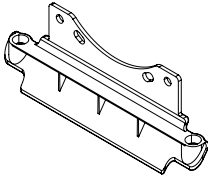
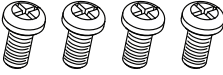
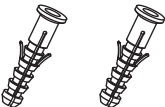


— 図10 —

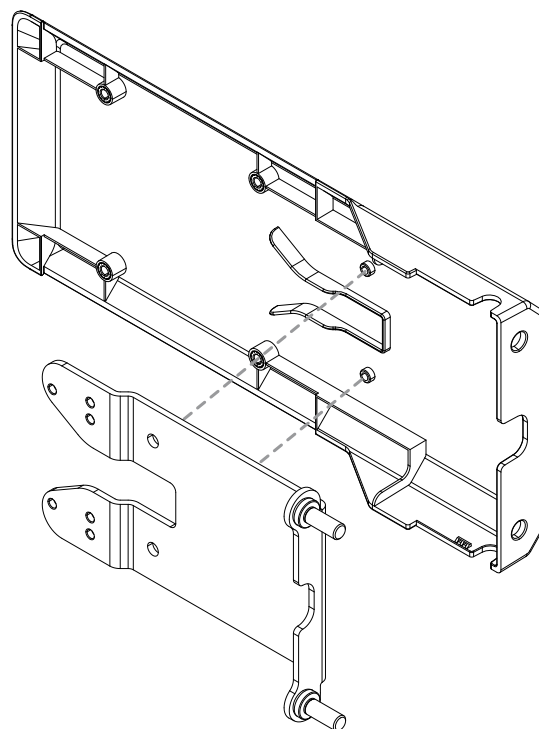
ステップ5.粘着パッドの反対側を取り外して粘着面を露出させ、組み立て済みのガラスマウント付き QSP-11 スケジューリングパネルの露出した粘着パッドを、平滑な設置面に押し付けてください。パネルが水平であることを慎重に確認してください。図9および図10を参照してください。

マリオンへの取り付け

マリオンまたはマリオンマウントを使用して壁面に本機器を取り付ける前に、以下のデバイスおよびアクセサリが揃っていることを確認してください。

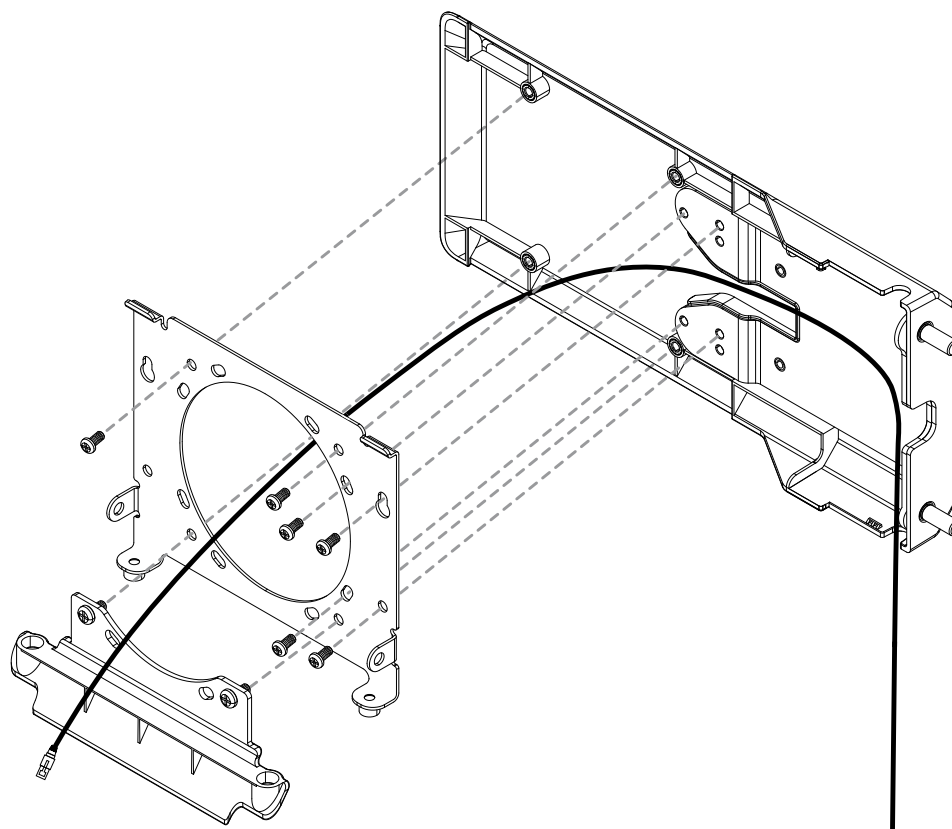
 QSP-11 スケジューリングパネル x1	 壁面マウント x1	 バックプレート x1	 構造ブラケット x1
 底部ケーブルカバー x1	 ブラケットケーブルカバー x1	 M4x8mm プラスなべ頭小ねじ x8	 KM3x6 mm ブラケットねじ x2
 PA6x30mm セルフタッピングねじ 2x	 壁用アンカー 2x		

ステップ 1. 図11に示すように、構造ブラケットをバックプレートに取り付けてください。



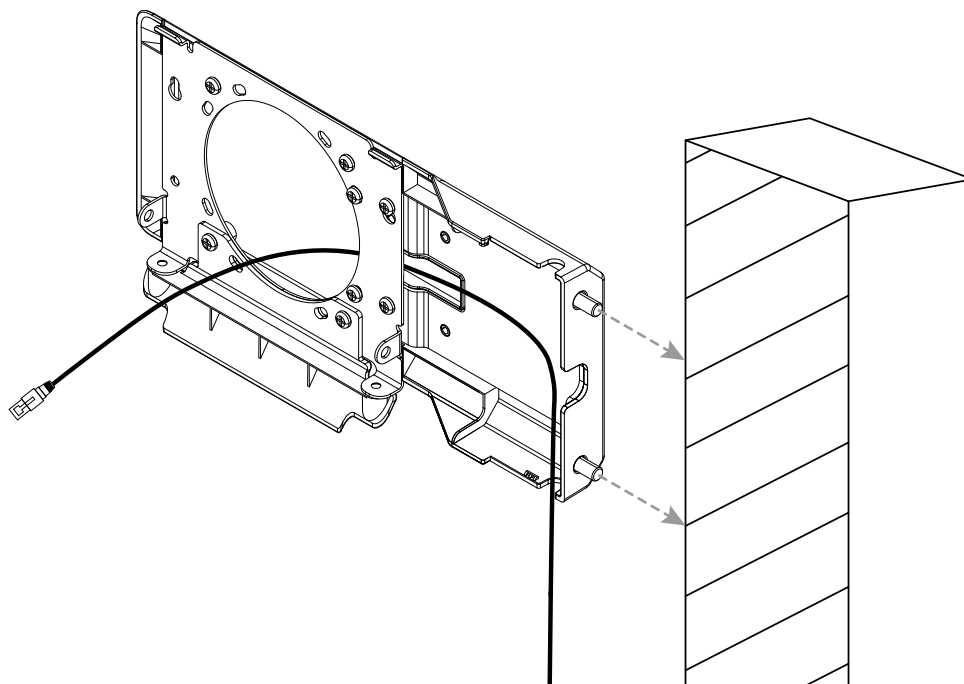
— 図11 —

ステップ2.必要なケーブルをバックプレートに配置し、壁面マウントを通して引き出し、図12に示すようにQSP-11スケジューリングパネルに接続できるようにしてください。M4x8mmのプラスネジを使用して、壁面マウントおよび下部ケーブルカバーをバックプレートに固定してください。



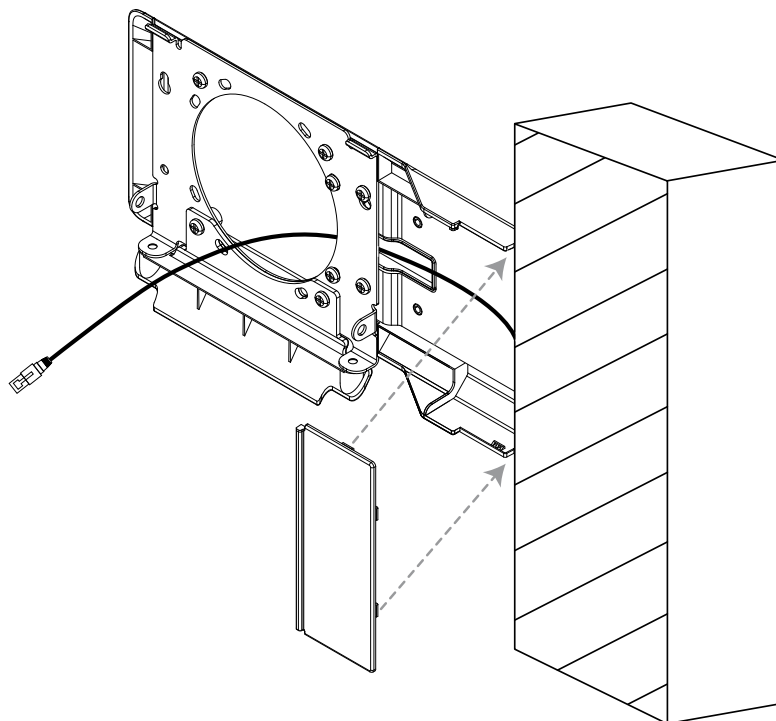
— 図12 —

ステップ3.QSP-11パネルのマリオン上での設置位置を決定してください。必要な箇所に穴の位置を測定し、穴あけを行ってください。図13に示すように、内蔵ファスナーを使用して、バックプレートを構造用ブラケットとともにマリオンに取り付けます。



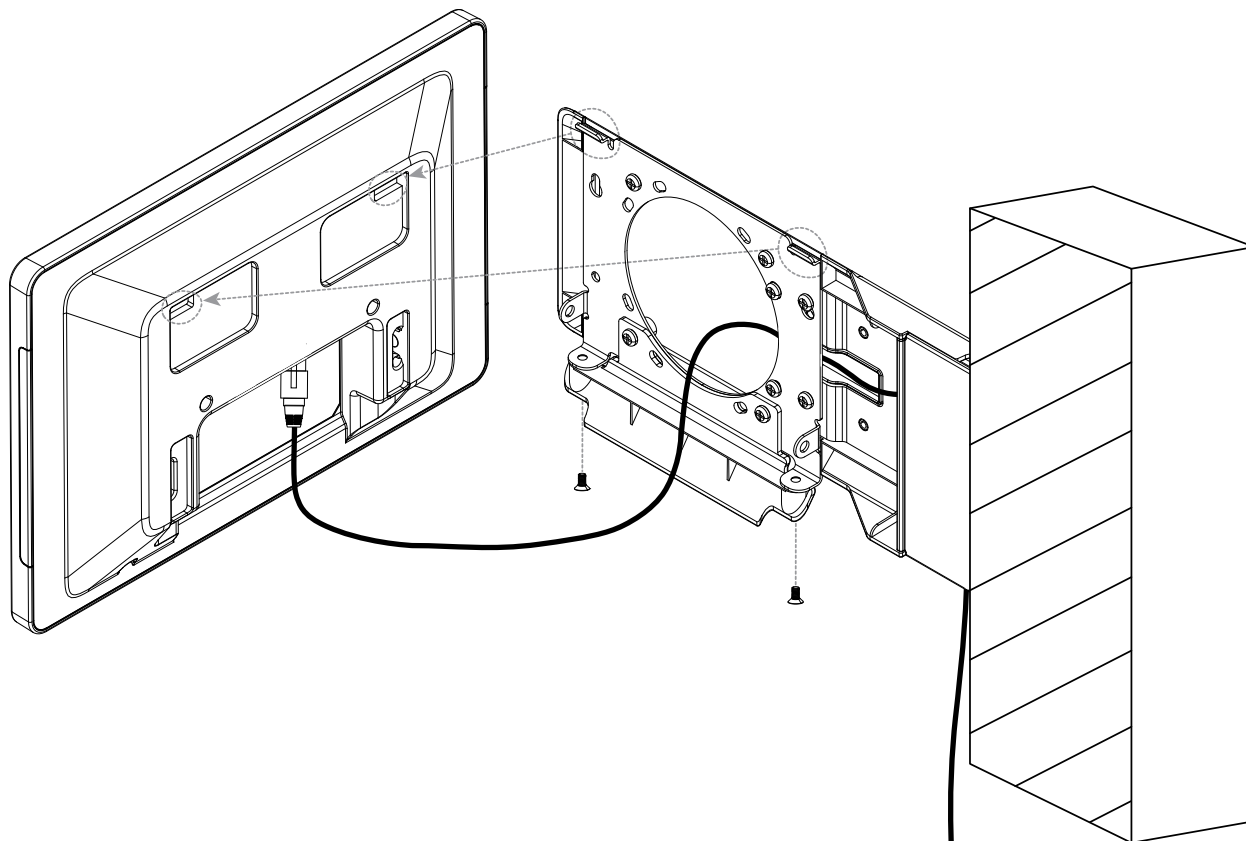
— 図13 —

ステップ4.図14に示すように、ブラケットケーブルカバーを所定の位置にはめ込んで取り付けます。

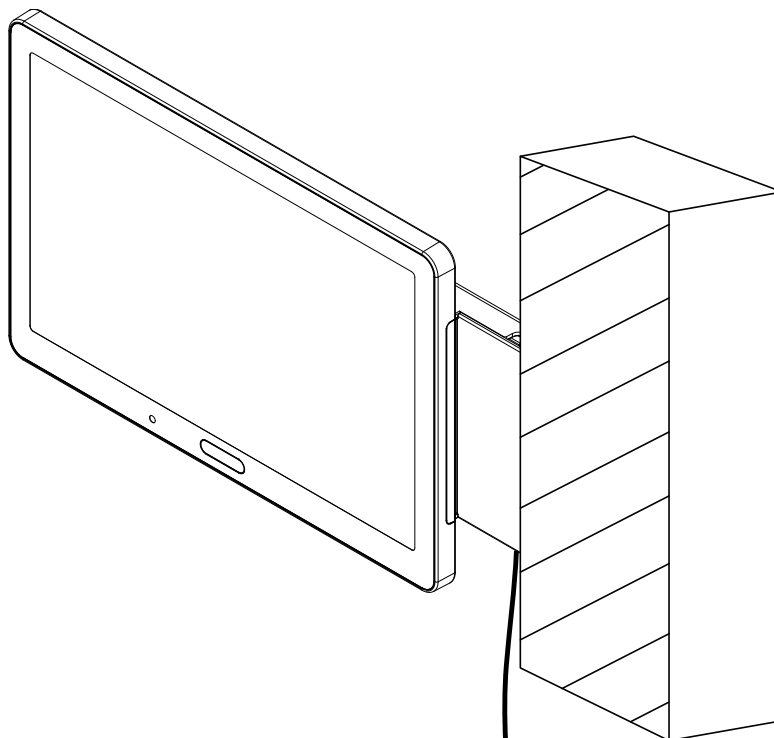


— 図14 —

ステップ5.パネルを壁面マウントに取り付けるには、パネルの開口部を壁面マウントの突起（またはフック）に合わせ、パネルを所定の位置に落とし込みます。ケーブルを配線する際は、カバーが確実に閉まるように注意してください。次に、2本のブラケットねじ（KM3×6 mm）を使用して、パネルを取り付け済みの壁面マウントに固定してください。図15を参照してください。



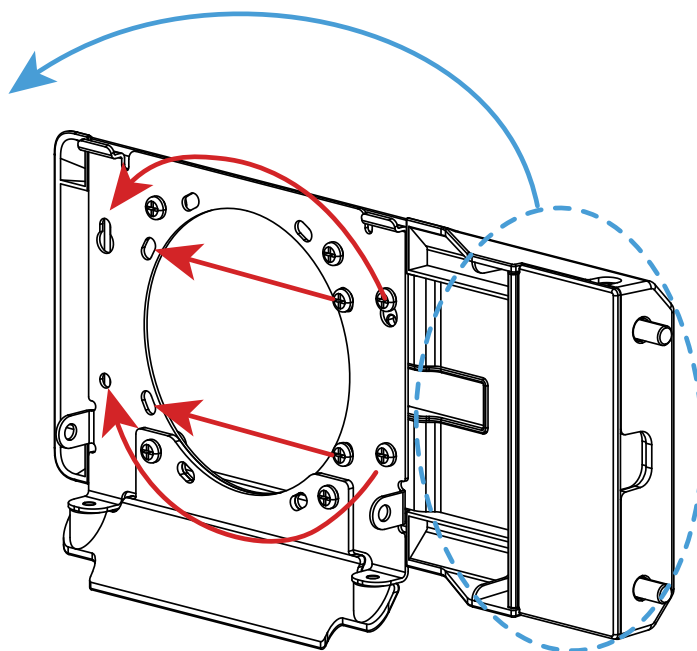
— 図15 —



— 図16 —

ガラスまたはマリオン取り付けのためにアセンブリを回転する

ガラス／マリオンマウントは、左または右に延長するように設置できます。分解/再組立が必要です。アセンブリ全体を単に回転させることはできません。背面ハウジング、ケーブルカバー、および構造ブラケット（青い矢印を参照）は回転します。ねじ（赤い矢印を参照）は新しい位置に移動されます。図17を参照してください。



— 図17 —

追加情報

配線

- RJ45コネクタを使用して、イーサネットケーブルでQSP-11をネットワークに接続します。
- ネットワークスイッチがPoE電源を供給している場合、追加の接続は不要です。
- それ以外の場合、またはWi-Fiを使用する場合は、オプションの45W DC電源を接続して電源を供給してください。

ソフトウェア

QSP-11のソフトウェアプラットフォームは、Android 15上で動作するMicrosoft Devices Ecosystem Platform (MDEP) をベースに構築されており、開梱後すぐに利用できるルームスケジューリング環境を提供するよう設計されています。本機器はMicrosoft Teams Panelアプリケーションに対応しており、ユーザーはタッチスクリーンから会議室の空き状況の確認、会議の予約、および予定された会議へのチェックインを直接行うことができます。Q-SYS ReflectおよびMicrosoft Teamsのクラウド管理ツールとの連携により、IT管理者は、リモート監視、設定、ソフトウェアアップデートを含むクラウドベースの機器管理を利用できます。これらは、より広範なQ-SYSエコシステムの管理に使用するものと同じプラットフォームから実行できます。

デバイスを再起動する

QSP-11は管理ソフトウェア内で再起動できます。デバイスを工場出荷時の状態にリセットするには、デバイスの電源が入った状態で、小型の非導電性工具を使用してリセットボタンを5秒間押し続けてください。リセス型リセットボタンはパネルの右下側にあり、製品が壁に取り付けられている場合でも、取り外されている場合でもアクセスできます。

ファームウェアのアップグレード

Teams Panelデバイスとして、OSおよびドライバーのファームウェア更新はMicrosoftの更新サービスを通じて実施されます。これらの更新は、自動更新に設定することも、Microsoft Teams管理ツール (Teams Admin Center、Microsoft Pro Management Portal) から更新することもできます。さらに、機器がQ-SYSのアップデートサーバーに接続できる環境であれば、機器上のQ-SYS固有のソフトウェアは自動的に更新されます。



カスタマーサポート

Q-SYSウェブサイトの「お問い合わせ」ページを参照して、テクニカルサポートおよびカスタマーケアの電話番号と営業時間をご確認ください。

qsys.com/contact-us/

ナレッジベース

よくある質問への回答、トラブルシューティング情報、ヒント、アプリケーションノートをご覧ください。Q-SYSヘルプ、ソフトウェアとファームウェア、製品説明書、トレーニングビデオなどのサポートポリシーやリソースへのリンクもあります。サポートケースを作成できます。

support.qsys.com

保証

QSCの限定保証を見るには、以下のウェブサイトをご覧ください。

qsys.com/support/warranty-statement/

製造者情報

QSC, LLC
1675 MacArthur Blvd., Costa Mesa, CA 92626, USA
EU代表者:
QSC EMEA GmbH Am Ilvesbach 6, 74889 Sinsheim, Germany
電話: +49 7261 6595 300
メール: info.emea@qsc.com
<https://www.qsc.com>